

# 今後の「社会保障改革」の工程(財務省案)

検討項目	工程
<b>【医療】</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>○高齢者の高額療養費を現役世代と同水準に</li><li>○入院食費・居住費に患者の預貯金等にもとづく負担を導入</li><li>○一般病床(難病のぞく)の居住費(光熱水費分)を患者負担に</li><li>○かかりつけ医以外を受診した場合の追加負担</li><li>○市販品類似医薬品の保険給付外し</li><li>○75歳以上の窓口負担を原則2割に</li></ul>	<p>16年末までに結論、速やかに実施 16年末までに結論、速やかに実施</p> <p>検討のうえ、17年に法案提出(※)</p> <p>検討のうえ、17年に法案提出(※) 検討のうえ、17年に法案提出(※) できる限り早期に具体化案まとめる</p>
<b>【介護】</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>○高額介護サービス費の負担上限引き上げ</li><li>○軽度者に対する生活援助を原則自己負担に</li><li>○軽度者の福祉用具・住宅改修を原則自己負担に</li><li>○要介護1・2への通所介護を地域支援事業に</li><li>○65～74歳の利用料負担を原則2割に</li><li>○75歳以上の利用料負担を原則2割に</li></ul>	<p>16年末までに結論、速やかに実施</p> <p>検討のうえ、17年に法案提出(※) 検討のうえ、17年に法案提出(※) 検討のうえ、17年に法案提出(※) 検討のうえ、17年に法案提出(※) できる限り早期に具体化案まとめる</p>
<b>【年金】</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>○所得が一定以上の高齢者の年金一部支給停止</li><li>○支給開始年齢のさらなる引き上げ</li><li>○公的年金等控除を含めた年金課税の見直し</li></ul>	<p>検討のうえ、17年に法案提出(※) 次期の財政検証ふまえ、法案提出 税制調査会で議論</p>
<b>【生活保護】</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>○能力に応じた就労等を行わない受給者に対する保護費減額</li></ul>	<p>18年に法案提出等の措置</p>

(※)速やかに関係審議会において実現・具体化に向けた検討を開始し、16年末のできる限り早い時期に結論を得て、遅くとも17年通常国会に所要の法案を提出